

(一般屋内用)

品番 FYY54000J FYY54010J

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

取付前のご確認事項

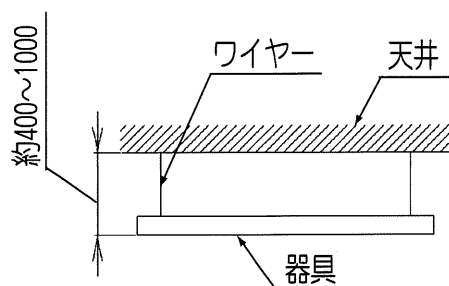
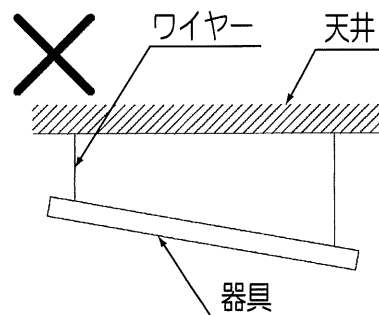
●この器具は、次の吊具と適合します。

品 名	品 番
ワイヤー吊具 端用電源線付	FYY80000
ワイヤー吊具 端用	FYY80001
パイプ吊具 端用	FYY80010

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 施工は、施工説明にしたがい確実に行なう。
施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。
- 器具を改造しない。感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧 $\pm 6\%$)・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用するとう火災・感電の原因となります。
- この器具は吊り下げ(パイプ・ワイヤー)専用器具です。当社適合吊具以外は使用しない。
落下の原因となります。
(吊具の取扱説明書またはカタログにてお確かめください。)
- 傾斜天井・壁面への取付けはしない。落下の原因となります。
- この器具を傾斜させて取付けしない。落下の原因となります。
- この器具は2本吊り専用です。
これ以外の本数での取付けはしない。
落下の原因となります。
- 開放廊下など、風の強い場所では振れ止め処理を行なう。(別途)
- この器具はワイヤー吊りの場合、設定可能高さは約400～約1000mmです。
これ以外の長さでのワイヤー吊りをしない。
落下の原因となります。
- ワイヤー長さの調整時は、手で支えながら行なう。
器具を支えずに長さ調整を行なうと、落下の原因となります。
- 吊具に衝撃が加わった場合は、異常がないか確認する。
異常があるまま使用すると、落下の原因となります。



⚠ 注意

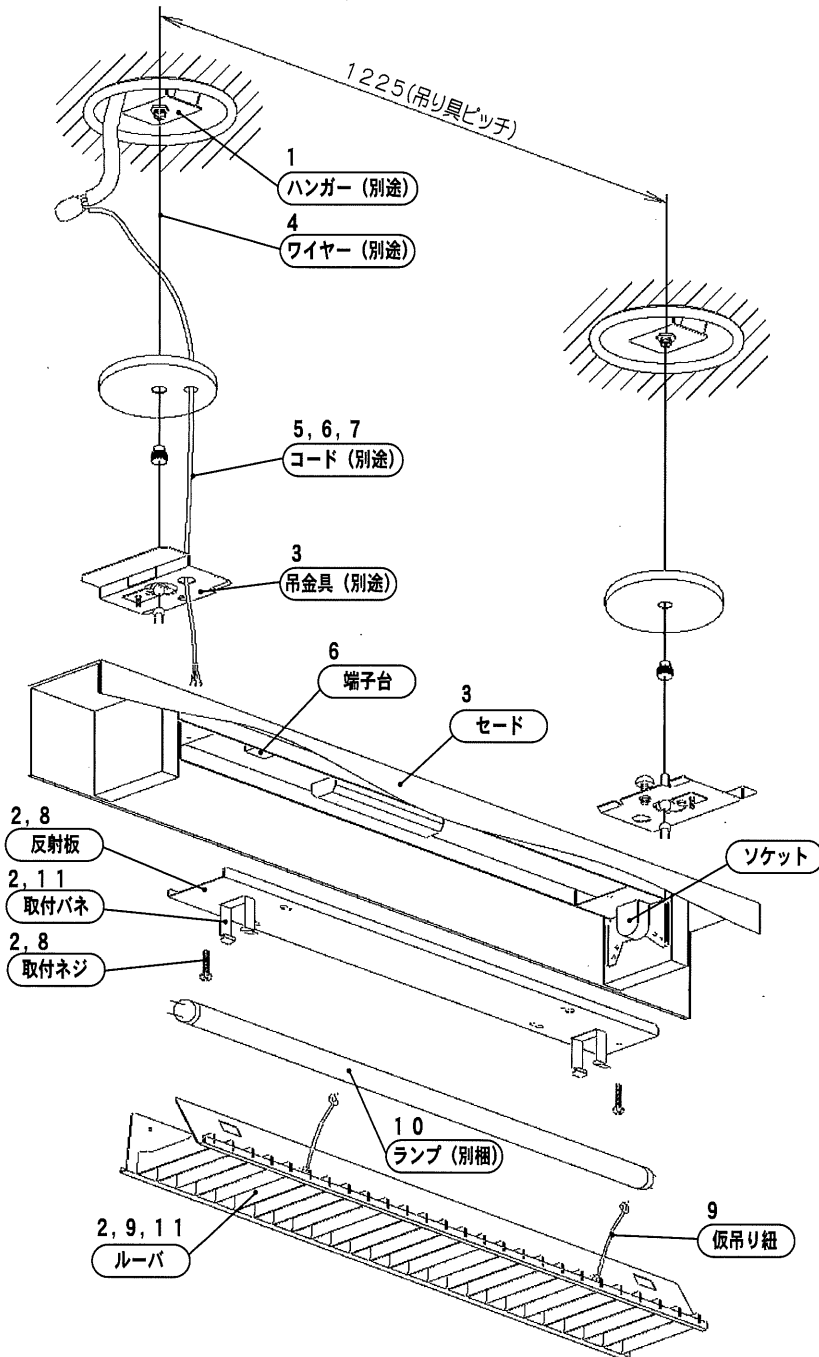
- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃以内で使用してください。
指定外の周囲温度で使用すると、ランプ短寿命の原因となります。

各部のなまえと取付方法

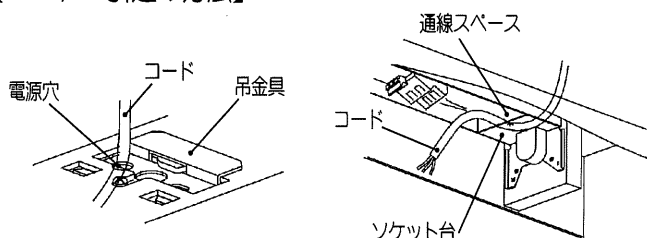
⚠ 警告

施工は取付方法にしたがい確実に行なう。 施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。

《FYY54000J ワイヤー吊りの場合》



【コードの引込み方法】



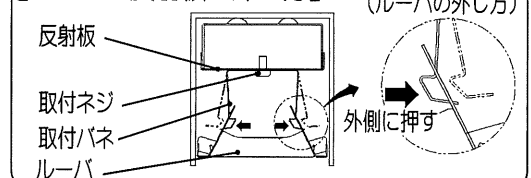
1. 取付前の確認

- 器具質量 (6.7kg : FYY54000J) に耐えられるよう、ハンガーが確実に取付けられているか確認する。
不備があると、器具落下の原因となります。
(詳しくは吊具取扱説明書をご覧ください)

2. ルーバ・反射板の取外し

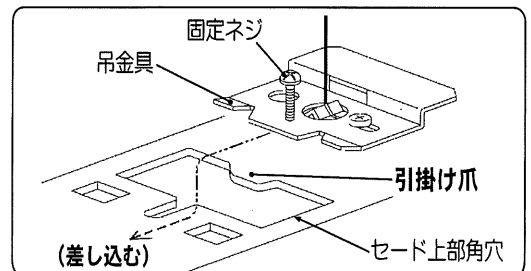
- 取付パネを外側に押してルーバを外す。
- 取付ネジ(2ヶ所)を外し、反射板を外す。

【ルーバ・反射板の外し方】

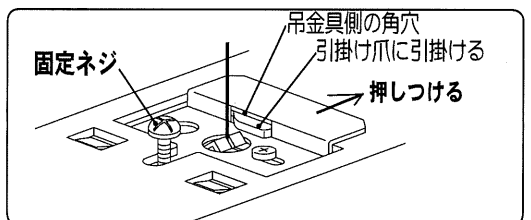


3. 器具の取付け

- 固定ネジを緩めて、セード角穴に吊金具を差し込む。



- 吊金具の角穴にセードの引掛け爪を差し込む。
固定ネジを締付け、吊金具を固定する。
不備があると、器具落下の原因となります。



4. 吊高さの調整

- 器具が水平になるようにワイヤー長さを調整する。
(詳細は吊具取扱説明書をご覧ください)
- 調整時は、必ず器具を手で支えた状態で行なう。
器具を支えずに行なうと、器具落下の原因となります。
- 調整後、ワイヤーに異常がないか確認してください。
異常があるまま使用すると、器具落下の原因となります。

5. 器具内へのコードの引込み

- 吊金具の電源穴よりコード(別途)を通し、ソケット台裏のスペースからコードを出します。(左図参照)
吊具同梱のコードを使用してください。
指定以外のコードでは、火災・感電の原因となります。

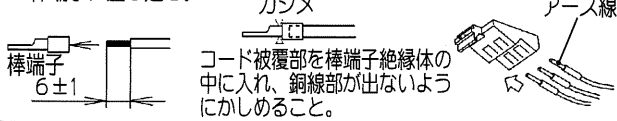
(この続きの施工手順は、次のページをご覧ください)

各部のなまえと取付方法

6. 端子台へのコードの接続

- ・コード先端を段剥きし、吊具同梱の棒端子を確実にかしめる。
不備があると、火災・感電の原因となります。
- ・棒端子を端子台の速結穴の奥まで確実に差し込む。
- ・D種(第3種)接地工事が必要です。

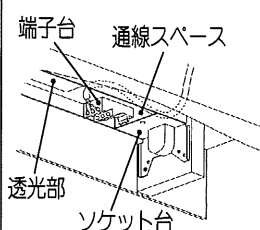
- ①コードを段剥きし、棒端子に差し込む。 ②棒端子をカシメる。 ③端子台に接続する。



7. コードの収納方法

- ・電源線接続後、余分なコードは反射板との当たりを防ぐため、灯具外部に出さず、通線場所の器具内に収納してください。
- ・FYY54010Jの場合は、透光面をコードで覆わないように注意してください。(右図参照)

〈FYY54010Jの配線処理方法〉

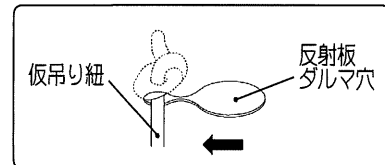


8. 反射板の取付け

- ・取付ネジで反射板を確実に取付ける。
取付けが不完全な場合、反射板落下の原因となります。

9. ルーバの仮吊り

- ・仮吊り紐を反射板ダルマ穴に確実に取付ける。
取付けが不完全な場合、ルーバ落下の原因となります。

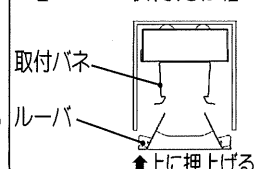


10. ランプを確実に取付ける。

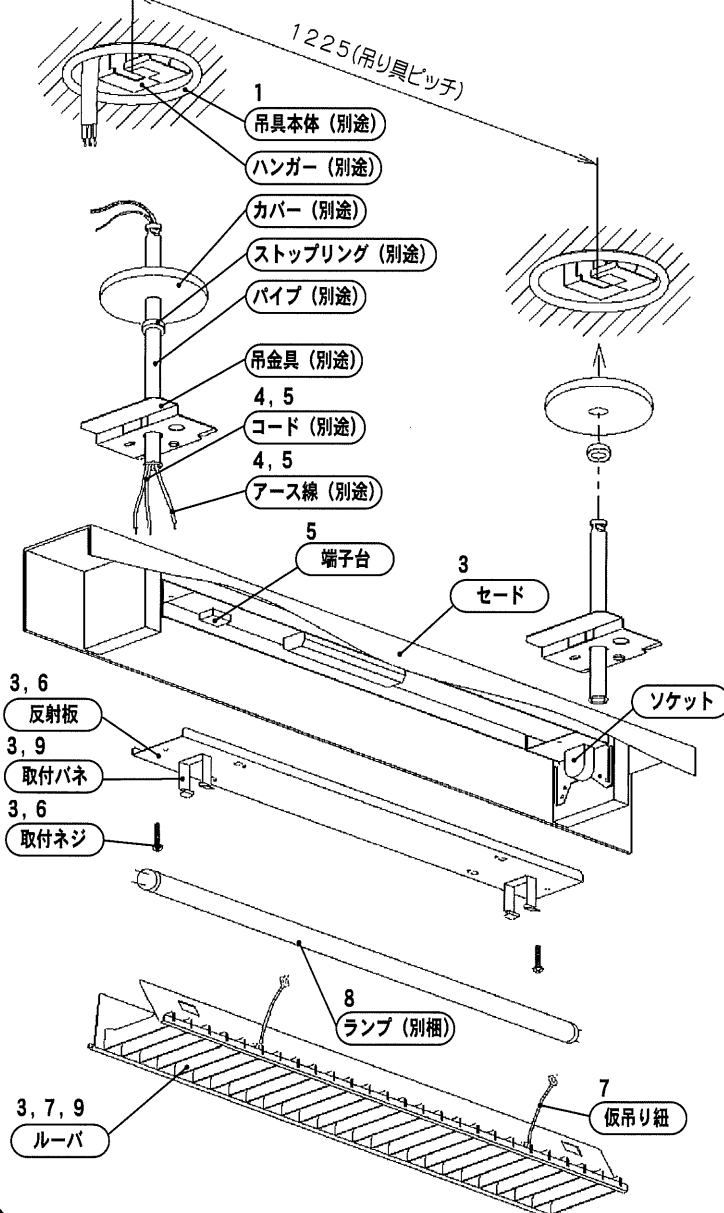
11. ルーバの取付け

- ・ルーバ角穴に取付バネが掛かるまで上方向に押し上げ、ルーバを取付ける。
不備があると、ルーバ落下の原因となります。

【ルーバ取付方法】



《FYY54000J パイプ吊りの場合》



1. 取付前の確認

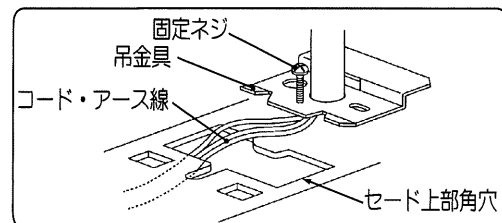
- ・器具質量 (6.9kg : FYY54000J) に耐えられるようハンガーが確実に取付けられているか確認する。
不備があると、器具落下の原因となります。
(詳しくは吊具取扱説明書をご覧ください)

2. ルーバ・反射板の取外し

(2ページの《ワイヤー吊りの場合》の説明欄をご覧ください)

3. 器具の取付け

- (1) パイプの吊金具の穴に順に差し込む。
(併せて吊具取扱説明書をご覧ください)
- (2) パイプにコードおよびアース線を通す。(電源引込み側)
- (3) 器具内にセード角穴からコード・アース線を引込む。
(2ページの《ワイヤー吊りの場合》の説明欄をご覧ください)



- (4) 固定ネジを緩めた後、セード角穴に吊金具を取付ける。
(2ページの《ワイヤー吊りの場合》の説明欄をご覧ください)
- (5) パイプにストップリング、カバーを差し込む。
(併せて吊具取扱説明書をご覧ください)
- (6) パイプを器具ごと持ち上げ、ハンガーに引掛けて固定する。
(併せて吊具取扱説明書をご覧ください)

4. 端子台へのコードの接続 (灯具側)

(このページの《ワイヤー吊りの場合》の説明欄をご覧ください)

5. 電源線・アース線の接続 (吊具側)

(詳しくは吊具取扱説明書をご覧ください)

6. 反射板の取付け

(このページの《ワイヤー吊りの場合》の説明欄をご覧ください)

7. ルーバの仮吊り

(このページの《ワイヤー吊りの場合》の説明欄をご覧ください)

8. ランプを確実に取付けます。

9. ルーバの取付け

(このページの《ワイヤー吊りの場合》の説明欄をご覧ください)

取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具を改造しない。感電・火災の原因となります。
- 煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のままで使用しない。感電・火災の原因となります。すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。
- アルカリ系洗剤は使用しない。強度低下による破損の原因となります。

⚠ 注意

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
(※ 使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です)
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長期間使い続けると、まれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

使用上のご注意

- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。
雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・同時通訳機などの誘導無線をご使用になる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し対策を講じてください。

保証について

- ・保証について この商品の保証期間は1年間です。ただし、安定器は3年間です。
ランプ等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

お手入れ・ランプ交換

- ・器具の清掃について 水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽くふき取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤でふかないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- ・ランプ交換について 本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。
(パナソニック製蛍光ランプをご使用ください)

交換ランプ

Hf蛍光ランプ

FHF32EX

〈ランプ交換手順〉

1. ルーバを外す。(右図参照)
2. 使用済みランプを外す。
3. 新しいランプをソケットに差し込む。
4. ランプを90°回転させる。
5. ルーバを取付ける。
取付けが不完全な場合、ルーバ落下の原因となります。

【ルーバの外し方】

